

アートマイルプロジェクト評価シート

■基本情報について教えてください。

学校名[観音寺市立観音寺南小学校] 担当教諭[木谷厚子・岸本寿美代]			
児童生徒の学年・クラス・参加人数:[6年 桜組 38名][6年 梅組 36名]			
実施期間:2010年9月～2011年3月			
交流:無・ 有 国名[カナダ] 学校名[Hillcrest Public School] 学年[6・7年]			
担当教諭[James Dobson, Susan Thomas]			
実施教科・時数	教科	単元名	時数
アートマイルに関連した時間すべて(総合は外国語活動、環境など中身がわかるよう)。必要に応じて行を追加してください。	総合	未来に残したい！日本の自慢	14
		伝えたい！日本の自慢	8
	外国語活動	自己紹介をしよう できることを紹介しよう	8

■作品について教えてください。

題(テーマ)	未来に残したい日本の自慢 ～見て・触れて・伝えて感じたわたしたちの自慢～
絵に込めたメッセージ	修学旅行で訪れた奈良や京都での感動や JICA 交流員との交流で感じた喜びをもとに、未来に残したい日本の自慢を描いた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科
導入	9月	・フォーラムを通じてお互いの学校やクラスの紹介をした。 ・一人一人が自己紹介カードを作成し、アメリカへ送った。	2度目の自己紹介カード作りであったので、英語が使えなくても相手に自分のことがよく伝わるようにイラストなど工夫を加えることができた。また、辞書で英語を調べて用意する等、昨年度より積極的な取り組みが見られた。	総合
情報収集	9月～1月	・カナダについて調べ、交流学校の位置や地域の様子を調べた。 ・日本の伝統的な品物を送り、説明をフォーラムで知らせた。相手校からも自己紹介カードや置物などが送られてきた。 ・日本とカナダの子どもたちでペアを決め、フォーラムを通じて質問をしたり答えたりした。 ・日本の伝統的な遊びや文化について調べ、来校した JICA の方々に工夫して伝えた。 ・外国語学習で習った“I can ～.”を使って自分たちの自慢紹介ビデオを作成し、送った。	相手の学校の様子や子どもたちの様子がフォーラムを通して分かってくるにしたがって、興味・関心が高まってきたようだ。 相手校の子どもたちとペアを決めたことで、より友達という意識がもてたようだ。ゲームが好きとか兄弟が二人いるとか、共通点をたくさん見つけてうれしそうだった。 日本の文化や伝統的なことについて調べたり相手に伝える工夫を考えたりする活動を通して、日本のよさを再認識できたと共に、楽しく交流することで相手に伝わる喜びを感じられたようだ。 外国語学習と関連づけることで、子どもたちは伝える相手をイメージしながら“I can ～.”の学習を進めることができた。	総合

テーマ 検討	11月	・各クラスでテーマを決め、テーマや分割の仕方をフォーラムで提案した。	今までの調べ学習から各クラスごとに伝えたいテーマを決め、グループに分かれて描きたい内容を話し合った。	総合
制作	12月	・各グループごとに壁画に描くデザインを話し合い、下書きを描いた。 ・色塗りも各グループごとに分担して進めた。	グループごとに描きたいものを絞り、下書きを全員が描いたうえで、壁画のデザインを決めたので、それぞれのアイデアが生かされた。 自分たちのパーツは自分たちが責任をもって完成させるようにしたので、全員が参加した壁画制作となった。	総合
鑑賞	3月 4月	・卒業式会場に壁画を展示した。 ・全校生が見ることができる廊下に掲示した。	卒業式会場に展示することで、自分たちが一生懸命に取り組んできた小学校での思い出の一つとして、心に残る卒業式を演出することができた。また、保護者や地域の方に見ていただく良い機会ともなった。	総合

■学習目標と成果はどうでしょうか？（「重視」には指導にあたって重視したものを1位～5位まで記入を、「先生の手応え」はすべてについて以下の1～5で評価してください。）

（5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:まったく関連がなかった）

つきたい力・指導目標	重視	先生の手応え	そう感じた場面・理由
コミュニケーション・スキル	2	5・4・3・2・1	言葉を使わないコミュニケーションとして、ビデオ作成やカード作りでの子どもらしい工夫がたくさん見られた。しかし、個々の交流になると英語の壁が高い。翻訳機だとすごい英語になるし…。担任の支援だけでは限界がある。
情報活用能力（収集・発信）	3	5・4・3・2・1	学校のパソコンは規制がきつく、画像などの検索が行えず、興味関心に応じた調べが十分にできなかった。
人間関係をつくる（交流相手・学級内）	4	5・4・3・2・1	相手校の子どもたちとペアを作ったので意識や関心が高まった。しかし、担任による翻訳には時間的な限界があり、十分に伝えることができなかった。
協同作業をする力（役割・段取り）		5・4・3・2・1	伝えたい内容ごとにグループに分かれ、全員で下書きのデザインを考え、色塗りをしたので。
異文化の理解		5・4・3・2・1	カナダについて十分に調べる時間的な余裕がなかった。
自文化の理解・自分を見つめる	1	5・4・3・2・1	JICA 交流員との交流で調べたり伝えたりした体験が生かされた。
表現力		5・4・3・2・1	フリップを使ったり、動作を工夫したりと言葉が通じない相手に対してどうすれば思いが伝わるかと積極的に考えることができた。

学習を追究する意欲	5	5・4・3・2・1	知っている英語を使ってどのようにしたら相手に伝わるか、自分なりに考え表現できたから。
作品を鑑賞する力		5・4・3・2・1	卒業式3日前に送られてきたので。

■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> ・体験を通して日本のすばらしさを見直し、感じる事ができた。 ・遠く離れていても、つながりあえることが実感できた。 ・習った英語が使えることが分かり、意識して外国語活動に取り組むことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・わたしの英語の力不足で相手校の質問に適切に答えられなかったり、子どもの声をリアルタイムでフォーラムにアップすることができなかった。

■アートマイルに対する校内・保護者や地域の方の反響はどうでしたか？

担当教諭や子どもたちによる広報の機会	校内・保護者や地域の方からの反響
<ul style="list-style-type: none"> ・カナダへ壁画を送る前に全校生に実物を見せながら紹介した。 ・教室の前の廊下に取り組みの様子を写真をたくさん使い掲示した。 ・卒業式会場に掲示したり、校内に1カ月程度掲示したりし、保護者や地域の方に見て頂いた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・とても素晴らしい取り組みだと評価をいただいた。 ・次年度は自分たちのクラスでもしたいという問い合わせがあった。

■その他ご感想・アートマイルプロジェクトへの要望などありましたらどうぞ。

<p>フォーラムで交流という手法は、安心して個人の顔写真を載せることができ、ありがたかったです。動画をもっと簡単に気楽に使えたら、もっとお互いを知ることができることができたのに・・・と感じました。相手の問いかけに、すぐに、的確に返事を返すことができないことも多く、英語をもっと使えるようにする必要性を改めて感じたと同時に、担任一人でする限界も感じました。</p>
